

磯辺公民館だより

つどい・まなび・つなぐ

磯辺公民館

TEL278-0033

令和2年 2月

本年度の締めくくりは自分の遺伝子スイッチをONに



本年度も残り少なくなってまいりました。「公民館だより」本年度の最終号となりました。

皆さん、「遺伝子」とか「ゲノム」といった言葉を知っていますでしょうか。ここ数年、この言葉を新聞や雑誌でも見るようになってきました。

その理由のひとつとしては、2003年にヒトの遺伝子情報、つまり、DNAの塩基配列のことですが、かなり明確になったことがあげられます。どの染色体のどこにどんな遺伝子が含まれているのかまでが、詳しくわかるようになってきたそうです。そうなってくると、この人はどんな病気にかかりやすいのか、また、どんな能力に秀でているのかといったことがわかるそうです。こうなると個人の遺伝子情報の活用価値は、計り知れないものになってくるのではないのでしょうか。

ちょっと前までは、個人の遺伝子情報をすべて読み込むには、莫大な費用が掛かっていました。大きなマンションが建てられるほどの巨額だったそうですが、遺伝子情報を知るのに、こんなにお金がかかってしまっては、知りたくても途方に暮れるばかりです。

しかしながら、医療関係の方々のたゆまぬ努力により科学や医学が大変進歩し、現在では、電動自転車一台を購入する程度で、遺伝子情報を知ることができるようになったそうです。

さらには、オバマ前アメリカ大統領の演説の中にあつた「個人の遺伝子解析によって、その人に最も合った治療を行うオーダーメイド医療」が、アメリカでブームを呼びました。当然ながら、日本でも遺伝子情報が、健康管理の方法として活用されているというのです。

今まで、見たくても見られなかったものが、比較的簡単に見えるようになったため、遺伝子ががぜん注目を浴びるようになってきました。それでは、遺伝子情報さえわかれば、私たちは現在と未来をもっともっと正確に理解や予測ができるようになるのでしょうか。自分は近い将来、糖尿病や癌になるのかならないのか、芸術や音楽、または、スポーツの世界で果たして活躍できるのか、さらには、スポーツの分野でも球技関係を目指したら良いのか、陸上か、水泳か、はたまた格闘技系に進んだ方がいいのか、全てがわかってしまうのでしょうか。我々の未来は、遺伝子によって全て決められているのでしょうか。

きっと、答は、「NO」だと思います。遺伝子は、あくまでもその人の体質や素質の傾向を示すものではないのでしょうか。持って生まれた遺伝子をどう生かすかは、おそらく自分自身の意思や行動力ではないのでしょうか。その意思や行動のスイッチを「ON」にするか「OFF」にするかで変わってくることでしょう。自らの意志や行動、そして生活習慣によって、そのスイッチは切り替わるのではないのでしょうか。

ぜひ、本年度の締めくくりとして、自らの意志と行動で、自分の未来を明るく、豊かな人生になるよう遺伝子を意識したスイッチを入れていこうではありませんか。

磯辺公民館長 川 上



主催行事

12月14日（土）、「こども書き初め教室」を行いました。

3～5年生が各課題のコツを講師に教えていただき、集中して取り組んでいました。



12月17（火）～20日（金）、パソコン講座「エクセル入門」を行いました。
受講者からは、「4日間連続で集中して学習できた」との評価をいただきました。



1月18日（土）、健康講座「スポーツ吹矢教室」を行いました。

「先生の指導は分かり易く、手軽にできて面白い」との感想をいただきました。



今後の予定 主催行事

◇2月29日（土）

郷土史講座 中世都市「千葉」を探る

申し込み開始 2/6（木）より（電話もしくは窓口で）